



空気が乾燥しやすいのは冬だけじゃない！

春も火災に要注意！

空気が乾燥し、火災が起きやすい季節として、冬をイメージする方が多いかと思います。しかし、暦の上で春を迎える2月から桜が咲き始める4月の間もまだまだ空気が乾燥しており、火の取り扱いに注意が必要な季節です。消防庁でも、火災が発生しやすい時期を迎えるにあたり、毎年、3月1日から7日を「春の全国火災予防運動」の期間に定め、注意を促しています。

油断しやすい今の時期、今一度、火災予防のポイントを抑え、命や家財を守りましょう。



住宅防災 いのちを守る10のポイント

4つの習慣

- ▶ 寝たばこは絶対にしない、させない
- ▶ ストープの周りに燃えやすいものを置かない
- ▶ コンロを使うときは火のそばを離れない
- ▶ コンセントはほこりを掃除し、不要なプラグは抜く



6つの対策

- ▶ ストープやコンロなどは安全装置の付いたものを使用する
- ▶ 住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する
- ▶ 部屋を整頓し、寝具・衣類・カーテンは防火品を使用する
- ▶ 消火器などを設置して使い方を確認しておく
- ▶ 高齢者や身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保しておく
- ▶ 防災訓練への参加などにより地域ぐるみの防火対策を行う

消防NEWS

令和5年中の災害出動件数を公表します

令和5年の災害出動件数は、火災29件、救急2,405件、救助44件となりました。令和4年と比べ、すべての区分で件数が増加しました。

今後も、市民の命を守るため、現場の第一線での業務や、啓発活動を行っていきます。市民の皆さんも、火災予防や119番の適正利用など、ご協力をお願いします。

区分	出動件数	
	令和5年	令和4年
火災	29件	17件
救急	2,405件	2,293件
救助	44件	23件